

ぐるめ散歩

パン

安心して食べられる天然素材のやさしい味

ゴーシュは、天然素材の持ち味をいかしたやさしい味のパンを提供、子どもから高齢者まで安心して食べられると好評だ。

店主の丹野美智子さんは、20代半ばに郷里の岩手県にあるスーパーマーケットのパン屋に勤めたのがきっかけでパン作りが目覚め、上京して3軒の店で修行した後、平成16年に現在の店を開いた。店名は岩手出身の宮沢賢治の作品にちなんでつけた。



イースト菌を使って小麦粉本来の味を引き出したホテル食パンやグラハム食パンなど5種類ある食パンをはじめ、調理パンやサンドイッチ、ドライフルーツなどが入った天然酵母のフランスパン、デニッシュ、菓子パンなど30~40種を作っている。また、

☎3480-3053 岩手北4-10-13-101 営業=午前9時~午後8時 水・木・土曜休み



アレルギーを持つ人や赤ちゃんの離乳食用に卵や牛乳を使わないパンもある。昔ながらのシンプルな味のプリンや季節の果物を使ったマフィンも人気。

丹野さんは「毎日のように来店する人も多いので、飽きのこない味を心がけるほか、新しいパンも考案しています」と話している。

おすすめMENU

- ① ホテル食パン ¥280
 - ② グランベリーとピスタチオ入りフランスパン1本 ¥460
 - ③ シナモンとくるみのブレッド ¥250
 - ④ ダブルベリーデニッシュ ¥200
 - ⑤ 甘夏クリームチーズマフィン ¥150
 - ⑥ パン屋さんのかま焼きプリン ¥240
 - ⑦ 同・栗コーヒー ¥260
 - ⑧ グラハム食パン ¥300
- (税別・丸中数字は写真参照)



丹野さん

とれたて農産物直売所

富永茂和さん(66)は年間約40種の野菜とブルーベリー、柿、ミカンなどの柑橘類を栽培し、通常はマイズショップと市内のスーパーに出荷するほか、保育園と小学校の給食用に提供している。また、収穫が多い夏と冬は畑横にある直売所で販売する。これからはトマト、キュウリ、ナス、枝豆、ゴーヤ、オクラなどの夏野菜に加えマクワウリ、ブルーベリーなども出荷する。冬は、父から受け継いだ種芋を使った里芋、八つ頭が人気。富永さんは狛江GAP研究会会長で、牛やポニーのフンなどの有機肥料で土を作り、土壌や農薬、肥料などをチェックしながら新鮮で安心安全な農作物の栽培を心がけている。「農業愛好家や同級生などボランティアの力を借りて良い作物ができ、多くの人に喜んでもらってやりがいがあります」と話している。



富永茂和さん

所在地=西野川2-25-1
販売=6月下旬~7月と12月(夏・冬野菜の収穫期)
時間=午前9時から売場まで



7月の狛江農産物

枝豆



夏の味覚として親しまれている枝豆は、大豆を未成熟なうちに収穫し

塩ゆでなどにして食べる。タンパク質やビタミン類などの栄養素や食物繊維を多く含み、栄養価が高いのが特色。

狛江では特産品として多くの農家が栽培しており、初夏から晩夏にかけて出荷する。選ぶ時は、さやが膨らんで実がしっかりと詰まっており、きれいな緑色で産毛に覆われているものが良い。

新鮮なうちにゆでるようにする。また、固めにゆでて冷凍すると長く保存できる。

ひだまりセンターがオープン

連携して子育て・教育を支援

子ども家庭支援センター
児童発達支援センター
教育支援センター

狛江市の子育て・教育支援複合施設「ひだまりセンター」が元和泉1-11-11に完成、5月7日(金)から業務を開始した。ただ、新型コロナウイルス感染症のため一部の業務を中止していたが、国の緊急事態宣言が解除さ



ひだまりセンター

れたため、6月から利用が始まった。

鉄筋コンクリート造り3階建ての建物は、内装に木材を多く使うなど、やさしさと温もりが感じられるよう配慮している。

建物は1階が子ども家庭支援センター、2階が児童発達支援センター、3階が教育支援センターが入っており、「きづく」「よりそう」「ささえる」「つなぐ」の4つの視点で3つのセンターが連携し、子どもの育ちの程度にかかわらず、子育てを切れ目なく支援していくという。

子ども家庭支援センター(☎5438-6605)は社会福祉法人雲柱社

が運営にあたり、たんぼぼひろば(子育てひろば)、ねんねプレイルーム、子育てや気持ち、児童の相談、ファミリー・サポート・センター、子ども家庭在宅サービスの受付などを行う。



子ども家庭支援センターのたんぼぼひろば

の収集・調査・研究と普及、教職員の研究・研修と相談などを行う。

児童発達支援センター(☎5761-9085)は心身の発達などに関する一般相談のほか、計画相談、通所支援、保育所等訪問支援などを行う。

教育支援センター(☎3430-1311)は教育相談、就学・転学相談、不登校などの児童・生徒の支援、学校生活に配慮が必要な児童・生徒などへの支援、小学校訪問教育相談、教育研修事業、教育に関する資料

の収集・調査・研究と普及、教職員の研究・研修と相談などを行う。

たんぼぼひろばを利用した母親たちは「新型コロナウイルスの影響で、親子ともずっと自宅にいたので遊べてよかった」「内部がきれいだし、駅前の便利な場所なので利用しやすいです」と喜んでいました。浅見文恵施設長は「子育て中のお母さんたちがホッとできる交流の場にしていきたいので、気軽に利用してください」と呼びかけている。

手作りマスクが人気 シルバー人材センター

公益社団法人狛江市シルバー人材センター(石黒實会長)が繰り返し使える布マスクを製作・販売し好評だ。

同センターでは3月下旬にマスクが手に入りにくいとの声が会員などから寄せられ、手作りの検討を始めた。センターの衣類工房「ひまわり」で検討した結果、「密」を避けるため自宅で作ることとし、工房に所属する縫製作業の経験者約10人を中心に、呼びかけに応じた15人で「マスク班」を編成した。

ガーゼやゴムひもが入手困難だったが、職員が材料を買い集め、試作品を作って使い心地を試した。なかでも輪切りにしたストッキングを使った耳かけは、伸縮性が高いので耳の痛みがなく、長さの調節も簡単で好評だという。



布マスクの販売

当初は会員や老人福祉施設、家事援助サービスの依頼者などに贈っていたが、テレビのニュースで取り上げられて問い合わせが殺到したため、販売することを決めて3,000枚を製作した。5月21日(金)から29日(金)まで市役所ロビーで展示し、28日(金)、29日(金)、6月1日(土)に工房前で販売、多くの人から好評だった。

さらに内側に保冷剤を入れるポケットを付けた夏用マスクを開発、1,000枚を製作した。

マスクは普通と小型の2サイズあり、3枚1組で1,000円、夏用マスクは1枚500円で販売している。

石黒会長は「市民のニーズが高く地域貢献の一環と

して原価で販売している。マスクを通じてシルバー人材センターの活動に関心を持ってもらえたらうれしい」と話している。

問い合わせ☎3488-6735
シルバー人材センター。

夏の行事相次いで中止に 盆踊りや灯ろうまつり

盆踊りや灯ろうまつりなど、ことしの夏の行事が相次いで中止になっている。

市内の盆踊りは、多摩川住宅の多摩川ふるさと団地

まつり、狛江第一小学校での松原青年会盆踊り、都宮狛江アパートの狛江団地祭、市役所前市民ひろばでのいずみ会納涼盆踊り大会、八幡神社での小足立納涼盆踊り大会、慶岸寺での岩戸親睦会盆踊り大会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため主催者が中止を決めた。

また、8月に多摩水道橋下流の多摩川河川敷で開催を予定していた多摩川灯ろうまつりも中止となった。

Ichiro's Malt & Grain ホワイトラベル
ウィスキー 700ml 3,500円

夏こそ籠屋の美酒

すっきり爽快らまさ全開 本醸造

夏の山吹 乙25°
焼酎 1.8ℓ 2,600円

松露 乙20° 白麹赤芋仕込
焼酎 夏季限定 1.8ℓ 2,100円

夏雲 出雲富士 特純生原酒
1.8ℓ 2,838円

蒼空【夏】 純米かすみ酒
1.8ℓ 3,155円
(価格は消費税別)

日本の文化である地酒 (日本酒と焼酎) 専門店 <http://www.houzan.com>

籠屋(有)秋元商店 月曜定休・営業時間10:00~20:00(日祝10:00~19:00)
〒201-0016 狛江市駒井町3-34-3
電話:03-3480-8931 FAX:03-3489-2044